

映像通報システム「Live119」の運用開始

119番通報者と通信指令室が映像の送受信を行うことで、傷病者の状態や災害現場の詳しい状況を把握できるシステム「Live119」の運用を開始します。音声だけではうまく伝えることが困難な場合でも、映像で直接確認できるため、効果的な応急手当の指導や災害発生場所の特定など、迅速かつ的確な消防・救急活動につなげることで救命率の向上を期待できます。

1. システム概要

119番通報者のスマートフォンを利用し、通報者と通信指令室間の映像送受信システム

2. 運用開始日

令和6年10月1日（火）

3. 導入効果

- ・救急事案の通報時、映像を用いて正しい応急手当の方法を指導することで、救命率の向上と症状の悪化防止につながる
- ・災害時、現場の映像により状況を把握し、部隊の増強や活動方針の決定、応援要請の判断などに活用できる。消防本部や災害対策本部などでのライブ中継も可能
- ・通報者のGPS情報を取得することで位置が特定でき、地理に不案内な通報者への対応が可能

4. 運用手順

- ①119番通報を受け、通信指令室が映像通報システムの利用が有効と判断した場合、通報者にシステムの利用について協力を依頼。
- ②承認を得られたら、通信指令室が通報者のスマートフォンにショートメッセージで専用のURLを送信。
- ③通報者がURLへアクセスするとLive119が起動。マイクやカメラ、位置情報の確認が表示されたら「許可」をタップ。
- ④ビデオカメラボタンをタップして撮影開始すると映像が通信指令室に伝送。